

機械器具 50 開創又は開孔用器具
一般医療機器 歯科用開口器 (70949000)

ドライフィールドシステム

【形状・構造及び原理等】** *

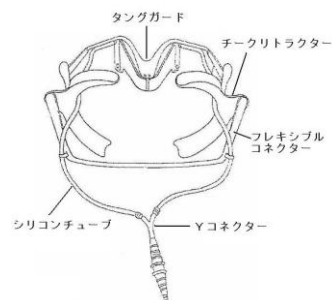
1. 概要

本品は、歯科治療で患者の開口状態を保持する器具である。大小2種類のサイズがあり、唾液を排出できる構造をもつ。

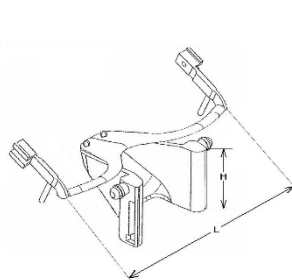
2. 形状、構造

図面は以下のとおり。

2-1. 全体図



2-2. 部品「タングガード」



タングガードのサイズ別の色及び寸法は下表のとおり。

寸法単位：mm

サイズ	色	H	L
S	赤	21.3	60
L	白	23.7	70

3. 原材料

ポリプロピレン、ガラス繊維入りアセタール共重合体、ナイロン12、シリコーン樹脂、赤色色素

【使用目的又は効果】

歯科治療で患者の開口状態を保持する。

【使用方法等】

- チークリトラクターアッセンブリの組立 (図1)
フレキシブルコネクタ(A)とチークリトラクター(B)を組み合わせる。
- タングガードアッセンブリの組立
タングガードの両サイドに出ているパイプにシリコンチューブを差し込む。
- 口腔内への装着
 - Aをたわめるようにして、Bを患者の口腔内に入れる。この時Bのディスタルフランジ(図2)が口腔の奥を向くようにする。口唇に無理なくBがかかっているかを確認する。
 - 次にタングガードを患者の舌に被せ、タングガード両サイドのコネクティングアームをBの溝に前方からスライドさせて入れる。
 - 患者に舌をリラックスするよう指示する。これによりタングガードの位置が口腔内で落ち着く。
 - タングガードから出ているチューブが最後臼歯後方に来るまでタングガードの位置をスライドさせる。
 - リテイニングポストの後ろを緩やかにチューブが通るようにする。
 - 図3のように、チューブをCホルダーに掛ける。
 - 最後にYコネクタにチューブを繋ぎ、デンタルチェアのパキュウムに接続する。

4. 取り外し方法

- 左右のBを近づけるようにして、Aをたわめ、分解しないでそのまま口腔内から取り出す。
- 取り出した後は、速やかにBからタングガードをスライドさせて外す。

図1



図2



図3



【使用上の注意】**

<重要な基本的注意>

- 使用前に必ず洗浄・滅菌すること。
- 製品に変形等の異常がある場合には、使用しないこと。
- 本品の滅菌はオートクレーブを使用すること。
- オートクレーブ滅菌の際、本品の各部品は分解すること。設定温度は121℃を推奨いたします。
- 変形の恐れがあるため、作業温度が135℃を超える工程(乾燥)は行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】**

- 外圧がかからないように保管すること。
- 直射日光・紫外線を避けて、常温にて乾燥保管すること。
- 埃、水分等が付かないように保管すること。
- 歯科医療有資格者以外の者が触れないよう適切に保管、管理すること。

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社 JM Ortho
住 所：東京都千代田区神田駿河台 2-2
御茶ノ水杏雲ビル 14F
電 話 番 号：03-5281-4711
F A X 番 号：03-5281-4716
製 造 業 者：Great Lakes Dental Technologies, LTD.
(アメリカ合衆国)

取扱説明書を必ずご参照ください。